

2026年度 実習・実技等の取組状況

作業療法学科 臨床実習

名称	時期/期間 単位	目的 目標
臨床実習Ⅰ (地域実習)	2年/8月	医療人を志すにふさわしい自主性、積極性、社会性を養うとともに通所リハ、訪問リハ、精神科デイケアの機能を理解し、説明（レポートで表現）することができる。 具体的目標： 1. 常識的態度や責任のある行動をとることができる。 2. 対象者（家族）と望ましい人間関係をもつことができる。 3. 意欲的に取り組む姿勢(探求心・創造性)をもつことができる。 4. 医療人を志すにふさわしい自主性、社会性を身につけることができる。 5. 自らが設定した行動目標を達成するために取り組むことができる。 6. 通所・訪問リハ、精神科デイケア施設の機能を理解し、説明できる。
	1週間	
	40時間 1単位	
臨床実習Ⅱ (評価実習)	3年 11～2月	各疾患において用いられる評価を経験し、評価技術を身に付けるとともに各評価の意義を学ぶ。また評価結果から問題点を抽出し、治療目標の設定、さらには治療計画の立案を行なう。 具体的目標： 【評価】 1. 一般情報収集 対象者の疾患と治療の概要を理解する。 担当症例特有の症状とそれに対する医学的治療方針もしくは支援方針を理解する。 2. 面接・観察・検査・測定の実施 必要な面接・観察・検査・測定の項目を列挙する。 面接・観察・検査・測定を実施する。 3. 記録 得られた情報や検査・測定の結果を記録する。 4. 分析・統合・解釈 得られた情報や検査・測定の結果を基に問題点を列挙する。 問題点を整理する。 【目標設定】 1. 障害の変化を予測する。 2. 長期目標を設定する。 3. 短期目標を設定する。 【治療計画の立案】 1. 必要な治療や指導を列挙する。 実施する治療計画を具体的に立案する。
	4週間 ×2回	
	320時間 8単位	

臨床実習 (総合実習)	4年 5~9月	臨床実習は、各疾患における評価、治療目標の設定、治療計画の立案、さらには治療実施を通じて、作業療法の基本的知識・技能の習得をはかることを目標とする。また、職業人・専門職としての基本的な態度の習得をはかる 具体的目標 【初期評価】 1. 一般情報収集 対象者の疾患と治療の概要を理解する。 担当症例特有の症状とそれに対する医学的治療方針もしくはは支援方針を理解する。 2. 面接・観察・検査・測定の実施 必要な面接・観察・検査・測定の項目を列挙する。 面接・観察・検査・測定を実施する。 3. 記録 得られた情報や検査・測定の結果を記録する。 4. 分析・統合・解釈 得られた情報や検査・測定の結果を基に問題点を列挙する。 問題点を整理する。 【目標設定】 1. 障害の変化を予測する。 2. 長期目標を設定する。 3. 短期目標を設定する。 【治療計画の立案】 1. 必要な治療や指導を列挙する。 2. 実施する治療計画を具体的に立案する。 【治療の実施】 1. 立案した治療計画を実施する。 2. 実施内容を記録する。 【再評価・目標再設定・治療計画の変更】 1. 再評価により作業療法の効果判定を行なう。 2. 新たな短期目標の設定と長期目標の確認を行なう。 3. 再評価結果に基づき作業療法計画の修正や変更を行なう。 【最終評価・今後の方向性・考察】 1. 患者の変化や作業療法の効果を確認する。 2. 今後の作業療法の方向性を検討する。 【管理運営】 1. 組織の概要を理解する。 2. 作業療法の過程を理解する。 3. 管理業務の概要を理解する。
	8週間 ×2回	
	640時間 16単位	
合計	1000時間 25単位	